

西ヨーロッパで一番高い山、モンブランなどがあるアルプス地方に伝わる楽器です。アルプスは、ヨーロッパのスイス、フランス、イタリアなどに



浜松市楽器博物館
はままつし がかせ ばくがくかん

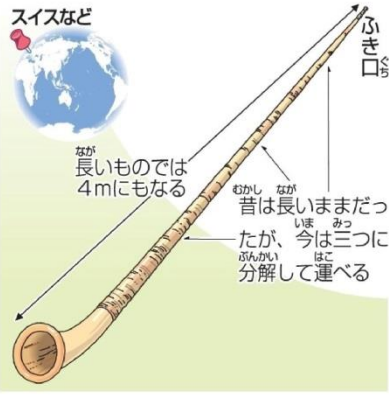
アルプホルン (スイスなど)



お祭り、アルプホルンを演奏する人たち
|| スイス (共同)

たがっていて、昔から羊や牛の放牧がさかんです。放牧をする人たちが、おたがい遠く離れた仲間と、このアルプホルンを鳴らして連絡を取り合いました。

「音が山にひびきながら、ほんとは遠くまでとどくんですよ。今は山で働く人も、携帯を使って連絡し合っているかもしれません」



遠く離れた仲間と連絡

さいてみよう!



パケット通信料がかかります。一部対応していない機種もあります。

「お祭り」で、浜松市楽器博物館の嶋和彦先生は笑いながら教えてくれました。

「モミの木などで作られていて、長いものは4尺もあります。くちびるをふるわせて鳴らし、くちびるのしめぐあい、音の高さを変えます。アルプホルンのために作曲された音楽もあります。日本でも、趣味で楽器を作ったり演奏したりする人たちがいます。」

2016年10月23日 朝刊 YOMOっと静岡

①アルプホルンは、昔、どんな人が何のために使っていましたか。

②アルプホルンは、どうやって音を鳴らしますか。

③今の子は、長いアルプホルンをどうやって運びますか。

年 組 名前